

心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた自主的で実行力のある児童の育成

＜目指す学校像＞

- 児童が学ぶ力をつけ、一人ひとりに居場所がある学校（自己有用感を！）
- 保護者・地域から信頼される開かれた学校
- ワークライフバランスがとれ、教職員の意欲と活力が漲る学校

＜職場環境＞

- 社会人としての良識をもち、互いに挨拶をしあう職員集団（挨拶＋1ワード）
- 困ったことがあれば、抱え込まずに気軽に相談し合える職場環境

「目指す児童像」

- **かしこく 自ら学び考える児童（知）**
 - ・自分の思いや考えをもち、意欲をもって学ぶ児童
 - ・自ら考え、調べ、答えを導き出そうとする児童
 - ・課題を見つけ、仲間とともに解決しようとする児童
- **やさしく 思いやりの心をもつ児童（徳）**
 - ・思いやりがあり、自他を大切にしている児童
 - ・笑顔で相手の心に届くあいさつができる児童
 - ・折り合いをつけることのできる児童
- **たくましく 心身ともに健康な児童（体）**
 - ・元気よく遊び、喜んで運動に挑戦する児童
 - ・健康と安全を考えて行動する児童
 - ・強い心で頑張り抜く児童

＜目指す教職員像＞

- 一人一人の児童のよさやがんばりに気づき、温かく接し、信頼される教職員
 - ・笑顔で児童に接し、元気にあいさつする教師
 - ・毎日全員に声かけをし、児童をほめる教師
 - ・常に危機管理意識をもち、児童を守る教師
- 教育への情熱をもち、自ら研究・修養に努め、資質と力量を高める教職員
 - ・きめ細かく丁寧な指導を行い、楽しい・分かる・身につく授業の創造に努め、児童の個性を理解し、伸ばす教師
 - ・わかる授業づくりの5つのポイントを大切に、計画的に指導する教師
 - ・専門性・指導力向上のため、常に自己研鑽に努める教師
- チーム学校の一員として、個を生かして活動する、心身共に健康な教職員
 - ・組織の一員としての自覚をもち、相互で支えあえる教職員
 - ・自己の強みを大切に、組織に提案できる教職員

本年度の目標と目標達成のための取組

1 豊かな心を育む

- 自己の生き方についての考えを深める道徳教育の推進
 - ・発達段階や特性等を踏まえ、自立心や自律性、生命を尊重する心や他者を思いやる心の育成
 - ・「考え議論する道徳」の授業の実践
- いじめを生まない好ましい人間関係づくり

※時代の変化に応じた業務改善

- ・専科指導による空き時間の活用・SSSの活用
- ・時間外勤務を削減するための会議等の削減
月45時間以上にならないように
- ・ノー残業デーの実施
平日は18時半までには退勤を
- ・休日出勤は、管理職に相談を

2 確かな学力の向上を図る

- 【全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現】
- ICTを活用した協働的な学びを実現し、多様な他者とともに問題発見・解決に挑む資質・能力を育成する。
- ドリルアプリ等を活用し、児童の理解度に応じた指導の個別化を図るとともに、学習内容の確実な定着を図る。
- ICTを「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に生かす。
- 学習規律（大蔵小スタンダード）の徹底
- 「学びの質を高める授業」づくり5つのポイントの周知・徹底
- 小中一貫した教育課程の実施
- 英語大好きタイムの充実
英語教育におけるALTとGIGA端末の効果的な活用等
- 学校図書館の積極的な活用（月に2回）
- 児童が個々の課題に応じ、楽しく興味をもって運動できるようICTを効果的に活用する等、指導方法の工夫改善に努める。

5 確かな人権感覚を育む人権教育

- 「新版いのち」、「明日への伝言板」等による人権教育の推進
- 教職員の豊かな人権感覚の養成

3 健やかな体を育む

4 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進

- 子どもたちの特性等について共通理解を深め、教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行う。
- 交流学級を中心とした通常学級との交流

6 SDGsの視点を踏まえた教育の推進
持続可能な社会を構築する態度を育てる教育

- 目標4「質の高い教育をみんなに」
- 復習を大切にした大蔵タイムの充実
- 学校まるごと図書館の推進
- 地域と共に大蔵川を守る環境教育の充実
- 避難訓練等の防災教育の充実

7 安心・安全な学校づくり

- 通学路の安全指導（登下校指導、校舎内の安全管理）
- 教職員の危機管理意識の向上 危機管理の「さしすせそ」
 - ・「報・連・相」時系列で記録/保護者には自分が思う一つ上の手厚い対応
 - ・事実の確認（当事者、周りの児童）、当日中に関係保護者に連絡
 - ・個人情報管理、飲酒運転・体罰・不適切な言動等不祥事撲滅！

8 指導力向上に向けた取組

- ・OJTシステムの確立（ミドルリーダー主導の若年教員研修の充実）
- ・各教科等の研修・研究大会に積極的に参加し、授業づくり等の指導力の向上

9 児童を育成するキーワード

～「あいさつ」をすれば、「えがお」があふれ、みんなが「げんき」になる～